

消費者にさつまの梅をもっと知ってもらおう！

南高梅収穫体験&交流会

生協コープかごしまの利用者などに一足早い収穫体験と^{ほじょう}圃場視察・交流会を体験してもらい消費者との交流を深める産直交流会が、6月4日開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、参加者約400名は北方町の市山正弘さんの梅園でビニール袋いっぱい収穫を楽しみました。

その後参加者は、改善センターに移って本町の特産品である梅、茶、米、豚肉について生産者の説明を受けました。茶について説明した熊田岐利さんは「私の茶園には、ミミズがたくさんいます。農薬を使わず、飲んだ方が健康になるようなお茶を作っています。」と話し、手間はかかるが消費者においしく安全に食べてもらおうと考えて作られる本町の生産物が、参加者にも十分理解されているようでした。

鹿児島市から参加したという^{ひがしそのえ}東園江さんは「小学生の子ども2人と来ました。梅が大きいのにびっくりしました。次回もこのような企画があったら参加してみたい。」と話されました。



▲産直交流会での収穫体験の様子

各地で販売促進活動

6月11日から13日まで鹿児島三越でかごしま自慢の特産品まつりが開催され、有機栽培された野菜や添加物を使用せず作られた加工品など町内産の目玉商品が、所狭しと並べられ多くの買い物客が訪れました。

青梅の計り売りコーナーなど順番待ちの所もあり、会場は終日大盛況でした。



▲鹿児島三越での販売の様様

また6月7日大阪ドームでおこなわれた関西鹿児島県人会主催によるかごしまファンデーの催しと、6月13日千葉県八千代市のスーパーイトーヨーカドーでもキャンペーンをおこない、特産品の販売促進に一役買いました。



▲大阪ドームでの出展



▲イトーヨーカドーでの販売促進の様子